

考査項目別運用表

(検査員)

| 考査項目 | 細 別 | a 優れている | b やや優れている | c 他の評価に該当しない | d やや劣っている | e 劣っている |
|---------|---------|--|--------------|-----------------|--|---|
| 2. 施工状況 | I. 施工管理 | <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 契約書第18条第1項第1号～5号に基づく設計図書の照査を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 工事期間を通して、施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場条件又は計画内容に変更が生じた場合（工期や数量等の軽微な変更は除く）は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 工事材料の品質に影響が無いよう工事材料を保管していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 立会確認の手続きを事前に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 建設副産物の再利用等への取り組みを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工体制台帳及び施工体系図を法令等に沿った内容で適確に整備していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 下請に対する引き取り（完成）検査を書面で実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 品質証明体制が確立され、品質証明員による関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般にわたって行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 工事の関係書類を事前協議に基づき過不足なく簡潔に整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">理由</div> | | | <p><input type="checkbox"/> 施工管理について、監督職員が文書による改善指示を行った。</p> | <p><input type="checkbox"/> 施工管理について、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。</p> |
| 評価欄 | | <p>●判断基準</p> <p>評価値が 90 % 以上 ----- a</p> <p>評価値が 80 % 以上 90 % 未満 -- b</p> <p>評価値が 80 % 未満 ----- c</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>①当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</p> <p>②削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()</p> <p>④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div> | | | | |

考査項目別運用表

(検査員)

| 考査項目 | a | a' | b | b' | c | d | e |
|--|---|---|---|---|--|--|---|
| 3. 出来形及び出来ばえ I. 出来形 | <input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の50%以内で、下記の「評価対象項目」の4項目以上が該当する。 | <input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の50%以内で、下記の「評価対象項目」の3項目以上が該当する。 | <input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の80%以内で、下記の「評価対象項目」の3項目以上が該当する。 | <input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の80%以内で、下記の「評価対象項目」の2項目以上が該当する。 | <input type="checkbox"/> 出来形の測定が必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a～b'に該当しない。 | <input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。 |
| <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 出来形管理が出来形管理図及び出来形管理表により確認できる。 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真(監督職員等が臨場した箇所は除く)で確認できる。 <input type="checkbox"/> 写真管理基準の管理項目を満足している。 <input type="checkbox"/> 出来形管理基準が定められていない工種について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 <p style="text-align: center;">(理由 _____)</p> <p>※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 (評定を行う工種で出来形管理項目が設定され、測点数が10点以上ある工事に適用する。)</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>① 出来形は、工事全般を通じて評定するものとする。</p> <p>② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状及び寸法をいう</p> <p>③ 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形を確保する管理体系である。</p> <p>④ 出来形管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。</p> </div> | | | | | | | |
| 評価欄 | | | | | | | |

考査項目別運用表

(検査員)

| 3. 出来形 及び 出来ばえ | 機械設備工 事 | a | a' | b | b' | c | d | e |
|----------------------|-----------------|---|----------|---------|----------|------------|--|---|
| | | 優れている | bより優れている | やや優れている | cより優れている | 他の評価に該当しない | やや劣っている | 劣っている |
| I.出来形 | ※上記欄によらず、当該欄で評価 | <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理が、出来形管理図及び出来形管理表により確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内であり、出来形の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足し、出来形の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真（監督職員等が臨場した箇所は除く）で確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗装管理基準の塗膜厚管理が適切にまとめており、出来形の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 溶接管理基準の出来形管理が適切にまとめており、出来形の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設計図書に定められている予備品に不足が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 分解整備における既設部品等の摩耗、損傷等について、整備前と整備後の劣化状況及び回復状況を図表等に記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由 | | | | | <input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。 |
| | 評価欄 | <p>●判断基準</p> <p>評価値が 90 %以上 ----- a 評価値が 80 %以上 90 %未満 -- a' 評価値が 70 %以上 80 %未満 --- b 評価値が 60 %以上 70 %未満 ---- b' 評価値が 60 %未満 ----- c</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>①当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した 比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が 2 項目以下の場合は c 評価とする。</p> </div> | | | | | | |

考査項目別運用表

(検査員)

| 考査項目 | 工 種 | a | a' | b | b' | c | d | e | | | | | | | | | | | |
|--------------------------|---|--|----------|---------|----------|------------|--|---|------------------------|----|--------------------------|---|--------------------------|----|-------------------|---|--|--|--|
| | | 優れている | bより優れている | やや優れている | cより優れている | 他の評価に該当しない | やや劣っている | 劣っている | | | | | | | | | | | |
| 3. 出来形及び出来ばえ I. 出来形 | 電気設備工事・通信設備工事・受電設備工事 ※上記欄によらず、当該欄で評価 | <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理が、出来形管理図及び出来形管理表により確認できる。 <input type="checkbox"/> 機器等の測定(試験)結果が、その都度管理図表などに記録され、適切に管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 写真管理基準の管理項目を満足している。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形を写真(監督職員等が臨場した箇所は除く)で確認できる。 <input type="checkbox"/> 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備全般にわたり、形状、寸法の実測値が許容範囲内であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の据付、固定方法が、設計図書又は承諾図書のとおり施工していることが確認できる <input type="checkbox"/> 配管及び配線が設計図書又は承諾図書とおりに敷設していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 行先などを表示した名札がケーブルなどに分かり易く堅固に取り付けている。 <input type="checkbox"/> 配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗等について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 (理由) | | | | | <input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。 | | | | | | | | | | | |
| | 評価欄 | <p>●判断基準</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">評価値が 90 %以上 -----</td> <td style="width: 5%;">a</td> </tr> <tr> <td>評価値が 80 %以上 90%未満 ----</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td>評価値が 70 %以上 80 %未満 -----</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>評価値が 60 %以上 70 %未満 -----</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>評価値が 60 %未満 -----</td> <td>c</td> </tr> </table> | | | | | 評価値が 90 %以上 ----- | a | 評価値が 80 %以上 90%未満 ---- | a' | 評価値が 70 %以上 80 %未満 ----- | b | 評価値が 60 %以上 70 %未満 ----- | b' | 評価値が 60 %未満 ----- | c | <p>①当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> | | |
| 評価値が 90 %以上 ----- | a | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価値が 80 %以上 90%未満 ---- | a' | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価値が 70 %以上 80 %未満 ----- | b | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価値が 60 %以上 70 %未満 ----- | b' | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価値が 60 %未満 ----- | c | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

考査項目別運用表

(検査員)

| 考査項目 | 工種 | a | a' | b | b' | c | d | e | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|----------------------|--|---------|------------|----|---|--|--|--|--|------------|-----------|-------|---------|------------|-------|-------|---------|-------|-------------|----|---|----|-------------|-------------|---|----|----|-------------|-------|----|---|---|-------|----|---|
| 3. 出来形及び出来ばえ II.品質 | コンクリート 構造物工事 | <input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。(試験項目の試験数が10点以上あるコンクリート工事に適用する。(スランプ、空気量) ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認ができる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認ができる。 <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認ができる。(寒中及び曇中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> スーパーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。 <input type="checkbox"/> その他 (理由 _____) | | | | | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。 | | | | | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ①当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> ●判断基準 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上 90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上 75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> </div> | | | | 評価値 | ばらつきで判断可能 | | | ばらつきで判断不可能 | 50%以下 | 80%以下 | 80%を超える | 90%以上 | a | a' | b | b | 75%以上 90%未満 | a' | b | b' | b' | 60%以上 75%未満 | b | b' | c | c | 60%未満 | b' | c |
| 評価値 | ばらつきで判断可能 | | | ばらつきで判断不可能 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 50%以下 | 80%以下 | 80%を超える | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 90%以上 | a | a' | b | b | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 75%以上 90%未満 | a' | b | b' | b' | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 60%以上 75%未満 | b | b' | c | c | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 60%未満 | b' | c | c | c | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 評価欄 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 土工事 (切土、盛土、堤防等工事) | <input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 置換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 締固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 芝付け及び種子吹付を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 土羽土の土質が設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> CBR 試験などの品質管理に必要な試験を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 法面に有害な亀裂がない。 <input type="checkbox"/> 伐除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 (理由 _____) | | | | | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため監督職員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 評価欄 | 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ①当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> ●判断基準 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上 90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上 75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> </div> | | | | | 評価値 | ばらつきで判断可能 | | | ばらつきで判断不可能 | 50%以下 | 80%以下 | 80%を超える | 90%以上 | a | a' | b | b | 75%以上 90%未満 | a' | b | b' | b' | 60%以上 75%未満 | b | b' | c | c | 60%未満 | b' | c | c | c | | |
| 評価値 | ばらつきで判断可能 | | | ばらつきで判断不可能 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 50%以下 | 80%以下 | 80%を超える | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 90%以上 | a | a' | b | b | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 75%以上 90%未満 | a' | b | b' | b' | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 60%以上 75%未満 | b | b' | c | c | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 60%未満 | b' | c | c | c | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

考査項目別運用表

(検査員)

| 考査項目 | 工種 | a | a' | b | b' | c | d | e | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|-------------|---|-------|---------|------------|---|---|--|--|--|-----------|--|--|------------|-------|-------|---------|-----|-------|---|----|---|---|-------------|----|---|----|----|-------------|---|----|---|---|-------|----|---|---|---|
| 3. 出来形及び出来ばえ II.品質 | 護岸・根固・水制工事 | <input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 | | | | | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 裏込材及び胴込めコンクリートの締固めを、空隙が生じないように十分に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 緑化ブロック、石積(張)、法枠、かごマット等における材料のかみ合わせ又は連結が、裏込材の吸出しが無いよう行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 石積(張)工において、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 護岸工の端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び水密性を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 植生工で、植生の種類、品質、配合及び養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 根固工、水制工、沈床工、捨石工等において、材料の連結及びかみ合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 指定材料の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 基礎工において、掘り過ぎが無く施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートブロック等を損傷無く設置していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工にあたって、床掘箇所湧水及び滞水等は、排除して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 埋戻し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。 <input type="checkbox"/> その他 (理由 _____) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ①当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ●判断基準 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="4">評価値</th> <th>90%以上</th> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <th>75%以上 90%未満</th> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <th>60%以上 75%未満</th> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <th>60%未満</th> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | | | | | ばらつきで判断可能 | | | ばらつきで判断不可能 | 50%以下 | 80%以下 | 80%を超える | 評価値 | 90%以上 | a | a' | b | b | 75%以上 90%未満 | a' | b | b' | b' | 60%以上 75%未満 | b | b' | c | c | 60%未満 | b' | c | c | c |
| | | ばらつきで判断可能 | | | ばらつきで判断不可能 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 50%以下 | 80%以下 | 80%を超える | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価値 | 90%以上 | a | a' | b | b | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 75%以上 90%未満 | a' | b | b' | b' | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 60%以上 75%未満 | b | b' | c | c | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 60%未満 | b' | c | c | c | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価欄 | | 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

考查項目別運用表

(検査員)

| 考查項目 | 工種 | a | a' | b | b' | c | d | e |
|---------------------------|----------------------------------|---|----|---|----|---|---|--|
| 3. 出来形及び出来ばえ II.品質 | 鋼橋工事 (RC床版工事はコンクリート構造物工事に準ずる) | <input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 | | | | | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。 |
| | | ●評価対象項目 [工場製作関係] <input type="checkbox"/> 鋼材の種別及び品質を証明する書類又は、現物により照合していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接施工に係る施工計画書を提出していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 孔空けによって生じたまくれが削り取られているなど、きめ細やかに製作していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 欠陥部の発生が見られないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 素地調整を行う場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料の空缶管理について、写真等で確実に空であることが確認ができる。 <input type="checkbox"/> 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績書により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 (理由) | | | | | | |
| | 評価欄 | [架設関係] <input type="checkbox"/> ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 高力ボルトの締め付けを、中心から外側に向かって行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 高力ボルトの品質が、証明書類で確認できる。 ついでいることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 架設にあたって、部材の応力と変形等を十分検討していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 架設に用いる仮設備及び架設用機材について品質、性能が確保できる規模及び強度を有していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場塗装部のケレン及び膜厚管理を適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場塗装において、温度、湿度、風速等の確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 (理由) | | | | | | |

①当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。
 ②削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
 ③評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数()
 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

●判断基準

| | | ばらつきで判断可能 | | | ばらつきで断不可能 |
|-----|-------------|-----------|-------|---------|-----------|
| | | 50%以下 | 80%以下 | 80%を超える | |
| 評価値 | 90%以上 | a | a' | b | b |
| | 75%以上 90%未満 | a' | b | b' | b' |
| | 60%以上 75%未満 | b | b' | c | c |
| | 60%未満 | b' | c | c | c |

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきが判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

考査項目別運用表

(検査員)

| 考査項目 | 工種 | a | a' | b | b' | c | d | e |
|---------------------------|-----------------------------|--|----|---|----|---|---|--|
| 3. 出来形及び出来ばえ II.品質 | 砂防構造物工事及び地すべり防止工事(集水井工事を含む) | <input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙－4参照。 | | | | | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。 |
| | | ●評価対象項目 [共通] <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認ができる。 <input type="checkbox"/> 運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、定められた条件を満足していることが確認ができる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理しており、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っている。 <input type="checkbox"/> 地山との取り合わせを適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋及び鋼材の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。 <input type="checkbox"/> その他 (理由) | | | | | | |
| | | [砂防構造物工事に適用] <input type="checkbox"/> コンクリート打設までさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 (理由) | | | | | | |
| | | [地すべり対策工事(抑止杭・集水井戸工事を含む)] <input type="checkbox"/> アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ライナープレートの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ライナープレートと地山との隙間が少なくなるように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 集・排水ボーリング工の方向及び角度が、適正となるように施工上配慮していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 (理由) | | | | | | |
| | 評価欄 | | | | | | | |

①当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。
 ②削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
 ③評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数()
 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

●判断基準

| 評価値 | ばらつきで判断可能 | | | ばらつきで判断不可能 |
|-------------|-----------|-------|---------|------------|
| | 50%以下 | 80%以下 | 80%を超える | |
| 90%以上 | a | a' | b | b |
| 75%以上 90%未満 | a' | b | b' | b' |
| 60%以上 75%未満 | b | b' | c | c |
| 60%未満 | b' | c | c | c |

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

考査項目別運用表

(検査員)

| 考査項目 | 工 種 | a | a' | b | b' | c | d | e |
|--------------|------|--|----|---|----|---|--|--|
| 3. 出来形及び出来ばえ | 舗装工事 | <input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 | | | | | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。 |
| II. 品質 | | ●評価対象項目 [路床・路盤工関係] <input type="checkbox"/> 設計図書に定められた試験方法でCBR値を測定していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床及び路盤工のブルーフローリングを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床及び路盤工の密度管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床盛土において、一層の仕上がり厚さを20cm以下とし、各層ごとに締固めて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い個所における締固めが、タンバ等の小型締め固め機械により施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 (理由 _____) | | | | | | |
| | | [アスファルト舗装工関係] <input type="checkbox"/> アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書類により確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗装工の施工にあたって、上層路盤面の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗設後の交通開放が、定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 各層の継ぎ目の位置が、設計図書で定められた数値以上であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 縦継目及び横継目の位置、構造物との接合面の処理等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって、気象条件を配慮していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 (理由 _____) | | | | | | |
| | | [コンクリート舗装工関係] <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗装工の施工に先だって、上層路盤面の浮き石等の有害物を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ持に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認ができる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認ができる。 <input type="checkbox"/> 運搬時間、打設方法及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料が分離しないようコンクリートを敷均していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> チェアー及びタイバーを損傷などが発生しないよう保管していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 (理由 _____) | | | | | | |
| | 評価欄 | | | | | | | |

①当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。
 ②削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

●判断基準

| 評価値 | 90%以上 | ばらつきで判断可能 | | | ばらつきで判断不可能 |
|-----|-------|-----------|-------|---------|------------|
| | | 50%以下 | 80%以下 | 80%を超える | |
| a | a | b | b | b | |
| a' | a' | b | b' | b' | |
| b | b | b' | c | c | |
| b' | b' | c | c | c | |

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。
 コンクリート舗装工事はばらつきで判断可能。

考査項目別運用表

(検査員)

| 考査項目 | 工種 | a | a' | b | b' | c | d | e |
|--------------|------|--|----|---|----|---|---|--|
| 3. 出来形及び出来ばえ | 法面工事 | <input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 | | | | | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。 |
| II. 品質 | | ●評価対象項目 [共通] <input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。(特に法枠工、コンクリート又はモルタル吹付工関係) <input type="checkbox"/> 施工に際して、品質に害となる施工面の浮き石やゴミ等を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 盛土の施工にあたり、法面の崩壊が起こらないよう締め固めを十分行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 (理由 _____) | | | | | | |
| | | [種子吹付工、客土吹付工、植生基材吹付工関係] <input type="checkbox"/> 土壌試験の結果を施工に反映していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ネットなどの境界に隙間が生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> ネットなどが、破損を生じていないことが確認ができる。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等であることが確認ができる。 <input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 (理由 _____) | | | | | | |
| | | [コンクリート又はモルタル吹付工関係] <input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 金網の重ね幅が、規定値以上確保されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 金網が破損を生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吸水性の吹付け面において事前に吸水させてから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等であることが確認ができる。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さに応じて2層以上に分割して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認ができる。 <input type="checkbox"/> 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 法肩の吹付けにあたり、地山に沿って巻き込んで施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 (理由 _____) | | | | | | |
| | | [現場打法枠工関係(プレキャスト法枠工含む)] <input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> アンカーを設計図書どおりの長さで施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場養生が、設計図書の仕様を満足するように実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認ができる。 <input type="checkbox"/> 枠内に空隙が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 層間にはく離が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 (理由 _____) | | | | | | |
| | 評価欄 | | | | | | | |

①当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。
 ②削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

●判断基準

| 評価値 | 90%以上 | ばらつきで判断可能 | | | ばらつきで判断不可 |
|-----|-------------|-----------|-------|---------|-----------|
| | | 50%以下 | 80%以下 | 80%を超える | |
| | a | a' | b | b' | b |
| | 75%以上 90%未満 | a' | b | b' | b' |
| | 60%以上 75%未満 | b | b' | c | c |
| | 60%未満 | b' | c | c | c |

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

考査項目別運用表

(検査員)

| 考 査 項 目 | 工 種 | a | a' | b | b' | c | d | e |
|--------------|--------------|---|----|---|----|---|---|--|
| 3. 出来形及び出来ばえ | 基礎工事及び地盤改良工事 | <input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙－4参照。 | | | | | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。 |
| II. 品質 | | 評価対象項目 [杭関係(コンクリート・鋼管・鋼管井筒、場所打 深礎等)] <input type="checkbox"/> 杭に損傷及び補修痕が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 既製杭の打止め管理の方法及び場所打杭の施工管理の方法が整備されており、その記録を整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 杭頭処理において、杭本体を損傷していないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 水平度、鉛直度等が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。 <input type="checkbox"/> 場所打杭について、トレミー管をコンクリート内に2 m以上挿入して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度並びに比重等が設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 配筋、スーパサーの配置及びコンクリートの打設等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ライナープレートの組み立てに当たり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 裏込め材注入の圧力などが施工記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 強度確認、セメントミルクの比重管理などの品質に係わる事項の管理資料を整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 (理由 _____) | | | | | | |
| | | [地盤改良関係] <input type="checkbox"/> 改良材のバッチ管理記録が整理され、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> セメントミルクの比重、スラリー噴出量、強度等の管理資料を整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 事前に土質試験を実施し、改良材の選定、必要添加量の設定等行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工箇所が均一に改良されているとともに、十分な強度及び支持力を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 (理由 _____) | | | | | | |
| | 評価欄 | | | | | | | |

①当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。
 ②削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。

●判断基準

| | | ばらつきで判断可能 | | | ばらつきで判断不可 |
|-------|-------------|-----------|-------|---------|-----------|
| | | 50%以下 | 80%以下 | 80%を超える | |
| 評 価 値 | 90%以上 | a | a | b | b |
| | 75%以上 90%未満 | a' | b | b' | b' |
| | 60%以上 75%未満 | b | b' | c | c |
| | 60%未満 | b' | c | c | c |

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。
 深層杭(コンクリート)はばらつきで判断可能。

考査項目別運用表

(検査員)

| 考査項目 | 工種 | a | a' | b | b' | c | d | e | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------|--------------------------------|--|-----|---------|------------|---|---|--|-----------|--|--|------------|-----|-----|---------|-----|-------|---|----|---|---|-------------|----|---|----|----|-------------|---|----|---|---|-------|----|---|---|---|--|--|
| 3. 出来形及び出来ばえ II. 品質 | コンクリート橋 上部工事 (PC及びRCを対象) | <input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準 土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 | | | | | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認ができる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認ができる。 <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理して、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の品質が証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の引張強度及び曲げ強度の試験値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> スペーサーの品質及び個数が、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プレバーム桁のプレフレクション管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プレストレッシング時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート圧縮強度の確認は、構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。 <input type="checkbox"/> その他 (理由) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお 削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ●判断基準 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%</th> <th>80%</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上 90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上 75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | | | ばらつきで判断可能 | | | ばらつきで判断不可能 | 50% | 80% | 80%を超える | 評価値 | 90%以上 | a | a' | b | b | 75%以上 90%未満 | a' | b | b' | b' | 60%以上 75%未満 | b | b' | c | c | 60%未満 | b' | c | c | c | | |
| | | ばらつきで判断可能 | | | ばらつきで判断不可能 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 50% | 80% | 80%を超える | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価値 | 90%以上 | a | a' | b | b | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 75%以上 90%未満 | a' | b | b' | b' | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 60%以上 75%未満 | b | b' | c | c | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 60%未満 | b' | c | c | c | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 評価欄 | 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

考査項目別運用表

(検査員)

| 考査項目 | 工種 | a | a' | b | b' | c | d | e |
|---------------------------|------|--|----|---|----|---|---|--|
| 3 出来形及び出来ばえ II. 品質 | 塗装工事 | <input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準 土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 | | | | | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。 |
| | | ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ケレンを入念に実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 天候状況の確認、気温及び湿度の測定を行い、塗装作業を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料を使用前に攪拌し、容器の塗料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油類等を除去し塗装を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料の空缶管理について写真等で確実に空であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗り残し、ながれ、しわ等が無く塗装されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接部、ボルトの接合部分、構造の複雑な部分について、必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由 | | | | | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ①当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 </div> | |
| | 評価欄 | | | | | | | |

●判断基準

| | | ばらつきで判断可能 | | | ばらつきで判断不可能 |
|-----|-------------|-----------|-------|---------|------------|
| | | 50%以下 | 80%以下 | 80%を超える | |
| 評価値 | 90%以上 | a | a' | b | b |
| | 75%以上 90%未満 | a' | b | b' | b' |
| | 60%以上 75%未満 | b | b' | c | c |
| | 60%未満 | b' | c | c | c |

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

考查項目別運用表

(検査員)

| 考查項目 | 工種 | a | a' | b | b' | c | d | e |
|---------------------------|-------------------|--|---------|------------|----|---|---|--|
| 3 出来形及び出来ばえ II. 品質 | 植栽工事 | <input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 <input checked="" type="checkbox"/> ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 活着が促されるよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 樹木などに損傷、はくずれ等が無いよう保護養生を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 樹木等の生育に害のある害虫等がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工完了後、余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 肥料が直接樹木の根に触れないよう均一に施肥していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 植生する樹木に応じて、余裕のある植穴を堀り植穴底部を耕していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 添木をぐらつきがないよう設置していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 樹名板を視認しやすい場所に据付けていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 (理由 _____) | | | | | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。 |
| | 評価欄 | 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。 | | | | | | |
| 3 出来形及び出来ばえ II. 品質 | 防護柵(網)標識・区画線等設置工事 | <input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 <input checked="" type="checkbox"/> ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 防護柵設置要綱、視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 防護柵等の床堀の仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 防護柵等の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 防護柵等の支柱の施工にあたって、既設舗装面へ影響が無いよう施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 基礎設置箇所について地盤の地耐力を把握して、施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 防護柵等の支柱の根入れ長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ガードケーブルを支柱に取付ける場合、設計図書に定められた所定の張力を与えているのが確認できる。 <input type="checkbox"/> ガードケーブルの端末支柱を土中に設置する場合、打設したコンクリートが設計図書に定められた強度以上であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ペイント式(常温式)区画線に使用するシンナーの使用量が10%以下であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線の厚さが見本等で設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線施工後の昼間及び夜間の視認性が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線の施工にあたって設置路面の水分、泥、砂じん及びほこりを取り除いている <input type="checkbox"/> 区画線を消去の場合、表示材(塗料)のみの除去となっており、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プライマーの施工にあたって、路面に均等に塗布していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 (理由 _____) | | | | | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値のため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値のため、検査職員が修補指示を行った。 |
| | 評価欄 | 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。 | | | | | | |
| 評価値 | ばらつきで判断可能 | | | ばらつきで判断不可能 | | | | |
| | 50%以下 | 80%以下 | 80%を超える | | | | | |
| 90%以上 | a | a' | b | b | | | | |
| 75%以上 90%未満 | a' | b | b' | b' | | | | |
| 60%以上 75%未満 | b | b' | c | c | | | | |
| 60%未満 | b' | c | c | c | | | | |

考查項目別運用表

(検査員)

| 考查項目 | 工種 | a | a' | b | b' | c | d | e | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------|-------------|---|-------|---------|------------|---|---|--|-----------|--|--|------------|-------|-------|---------|-----|-------|---|----|---|---|-------------|----|---|----|----|-------------|---|----|---|---|-------|----|---|---|---|--|--|
| 3. 出来形及び出来ばえ II. 品質 | 電線共同溝工事 | <input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 | | | | | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 指定材料の規格が、品質を証明する書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 管路の通過試験を行っており、試験結果から全箇所が導通していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 特殊部の施工基面の支持力が、均等となるようにつ陸がないように仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 特殊部等の施工において、隣接する各ブロックに目違いによる段差及び蛇行等が無いよう敷設していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 埋戻しにおいて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗装の復旧等が適時行われ、路面の沈下や不陸が無く平坦性を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 管枕及び埋設シートの設置及び土被りが、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 管設置において、それぞれの管の最小曲げ半径を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 (理由 _____) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ①当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ●判断基準 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="4">評価値</th> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上 90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上 75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | | | ばらつきで判断可能 | | | ばらつきで判断不可能 | 50%以下 | 80%以下 | 80%を超える | 評価値 | 90%以上 | a | a' | b | b | 75%以上 90%未満 | a' | b | b' | b' | 60%以上 75%未満 | b | b' | c | c | 60%未満 | b' | c | c | c | | |
| | | ばらつきで判断可能 | | | ばらつきで判断不可能 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 50%以下 | 80%以下 | 80%を超える | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価値 | 90%以上 | a | a' | b | b | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 75%以上 90%未満 | a' | b | b' | b' | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 60%以上 75%未満 | b | b' | c | c | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 60%未満 | b' | c | c | c | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 評価欄 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

考査項目別運用表

(検査員)

| 考査項目 | 工種 | a | a' | b | b' | c | d | e | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------|-------------|---|-------|---------|------------|---|---|--|-----------|--|--|------------|-------|-------|---------|-----|-------|---|----|---|---|-------------|----|---|----|----|-------------|---|----|---|---|-------|---|---|---|---|--|--|
| 3. 出来形及び出来ばえ II. 品質 | 下水道工事 | <input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 | | | | | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ●評価対象項目 [開削・推進工 共通] <input type="checkbox"/> 仕様書等で定められている品質管理を実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料の品質照合がミルシート等(現物照合を含む)で確認できる。 <input type="checkbox"/> 部品(材料・規格)の品質、性能が証明書等で確認できる。 <input type="checkbox"/> 機器の品質、機能、性能が成績書等で確認できる。 <input type="checkbox"/> 基礎工、管の接合及び接合養生等が設計図書及び施工計画書との適正が写真等で確認できる。 <input type="checkbox"/> 埋戻しにおいて、設計図書の仕様を満足していることが写真等で確認できる。 <input type="checkbox"/> 管等の取り扱い及び運搬・保管が適切であることが写真等で確認できる。 <input type="checkbox"/> 人孔の施工が適切であることが写真等で確認できる。 [推進工] <input type="checkbox"/> 管(推進管、シールド)の施工状態が報告書、写真等で確認できる。 <input type="checkbox"/> 地山土質や湧水状態に応じて適切に切羽の安定確保を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 注入圧、注入量が報告書及び写真等で確認できる。 [網製ケーシング式土留め工] <input type="checkbox"/> 網製ケーシング式土留め工の施工が適切であることが確認できる。 [地盤改良工] <input type="checkbox"/> 固結工による工事着手前に、必要な試験を行い、監督職員に提出していることが確認できる。 [その他] <input type="checkbox"/> その他 (理由 _____) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ●判断基準 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">ばらつきで判断可能</td> <td rowspan="2">ばらつきで判断不可能</td> </tr> <tr> <td>50%以下</td> <td>80%以上</td> <td>80%を超える</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>70%以上 90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上 75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </table> | | | | | | | ばらつきで判断可能 | | | ばらつきで判断不可能 | 50%以下 | 80%以上 | 80%を超える | 評価値 | 90%以上 | a | a' | b | b | 70%以上 90%未満 | a' | b | b' | b' | 60%以上 75%未満 | b | b' | c | c | 60%未満 | b | c | c | c | | |
| | | ばらつきで判断可能 | | | ばらつきで判断不可能 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 50%以下 | 80%以上 | 80%を超える | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価値 | 90%以上 | a | a' | b | b | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 70%以上 90%未満 | a' | b | b' | b' | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 60%以上 75%未満 | b | b' | c | c | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 60%未満 | b | c | c | c | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価欄 | | 注 当該工事は、ばらつき判断できない工種とし、当該工種からの評価対象項目で評価する。評価項目は最大8項目とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

考査項目別運用表

(検査員)

| 考査項目 | 工種 | a | a' | b | b' | c | d | e | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|-------------|---|-------|---------|------------|---|---|--|-----------|--|--|------------|-------|-------|---------|--|-------|---|----|---|---|-------------|----|---|----|----|-------------|---|----|---|---|-------|---|---|---|---|--|--|
| 3. 出来形及び出来ばえ | 上水道工事 | <input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 | | | | | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| II. 品質 | | ●評価対象項目 [開削工事] <input type="checkbox"/> 締め固めを適切な条件で施工しており、管の周辺に空隙が生じていないことが写真等で確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗装工において、AS混合物の温度管理が、プラント出荷時、現場到着時・舗設時等で整理・記録されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 当該工事の内容・規模に即した品質管理基準を作成して実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 配管、ポリエチレンスリーブの施工及び継ぎ手接合について仕様書で定められたことを遵守し、的確に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 配管等に係る主任技術者が配置され、配管工事が的確になせれていることが写真等で確認できる。 <input type="checkbox"/> 継手施工について所定の手続き(承認等)がされ、判定基準を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 継手状況の確認が規定通り実施され、明確に記録保管されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 水圧試験の状況及びその適否が写真により判断することができる。 <input type="checkbox"/> 鋳鉄管等の員数照合が水協検査証で確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 (理由) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | [推進工] <input type="checkbox"/> 管(推進管、シールド)の施工状態が報告書、写真等で確認できる。 <input type="checkbox"/> 地山土質や湧水状態に応じて適切に切羽の安定確保を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 注入圧、注入量が報告書及び写真等で確認できる。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ●判断基準 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="width: 10%;"></td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>70%以上 90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上 75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | | | ばらつきで判断可能 | | | ばらつきで判断不可能 | 50%以下 | 80%以下 | 80%を超える | | 90%以上 | a | a' | b | b | 70%以上 90%未満 | a' | b | b' | b' | 60%以上 75%未満 | b | b' | c | c | 60%未満 | b | c | c | c | | |
| | | ばらつきで判断可能 | | | ばらつきで判断不可能 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 50%以下 | 80%以下 | 80%を超える | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 90%以上 | a | a' | b | b | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 70%以上 90%未満 | a' | b | b' | b' | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 60%以上 75%未満 | b | b' | c | c | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 60%未満 | b | c | c | c | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 注 当該工事はばらつきの判断ができない工種とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 評価欄 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

考査項目別運用表

(検査員)

| 考査項目 | 工種 | a | a' | b | b' | c | d | e |
|------------------------|---------------------------------|--|----|---|----|---|---|--|
| 3. 出来形及び出来ばえ II. 品質 | 維持工事 (清掃工、除草工、付属物工、除雪、応急処理等) | <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 監督職員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 緊急的な作業において、迅速かつ適切に対応していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 理由 _____ <input type="checkbox"/> 理由 _____ <input type="checkbox"/> 理由 _____ <input type="checkbox"/> 理由 _____ <p>●判断基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 該当項目が6項目以上 ----- a ※ 該当項目が5項目 ----- a' ※ 該当項目が4項目 ----- b ※ 該当項目が3項目 ----- b' ※ 該当項目が2項目以下 ----- c | | | | | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。 |
| | 評価欄 | <p>注 記載の4項目を必須の評価項目とし、その他に適宜項目を追加して評価するものとする。 ただし、評価対象項目は最大8項目とする。</p> | | | | | | |
| | 修繕工事 (橋脚補強、耐震補強、落橋防止等) | <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・適確に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 監督職員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 理由 使用する材料の品質・形状が適切であり、かつ現場において材料確認を適時・的確に行っている。(例) <input type="checkbox"/> 理由 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施している。(橋梁補修の例) <input type="checkbox"/> 理由 _____ <input type="checkbox"/> 理由 _____ <p>●判断基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 該当項目が6項目以上 ----- a ※ 該当項目が5項目 ----- a' ※ 該当項目が4項目 ----- b ※ 該当項目が3項目 ----- b' ※ 該当項目が2項目以下 ----- c | | | | | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。 |
| | 評価欄 | <p>注 記載の4項目を必須の評価項目とし、その他に適宜項目を追加して評価するものとする。 ただし、評価項目は最大8項目とする。</p> | | | | | | |

考査項目別運用表

(検査員)

| 考査項目 | 工種 | a | a' | b | b' | c | d | e | |
|----------------------------|--------|--|----------|----------|------------|------------|--|--|--|
| 3. 出来形及び出来ばえ II. 品質 | 機械設備工事 | 優れている | bより優れている | cより優れている | 他の評価に該当しない | 他の評価に該当しない | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。 | |
| | | <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 材料、部品の品質照合の書類(現物照合)を整理し品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能が、承諾図書のとおり確保され、品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 設計図書の仕様を踏まえた詳細設計を行い、承諾図書として提出していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 機器の機能及び性能に係わる成績書が整理され、品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 溶接管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 塗装管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 操作制御設備について、操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性にすぐれていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 操作制御設備の安全装置及び保護装置の機能・性能確認試験について、試験書類を整理し品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 小配管、電気配線、配管が承諾図書のとおり敷設していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の取扱説明書を工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 完成図書(取扱説明書)に部品等の点検及び交換方法について、まとめていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 機器の配置が点検しやすいよう工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の構造や機器の配置が、交換頻度の高い部品等の交換作業を容易にできるよう工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 二次コンクリートの配合試験及び試験練りを実施し、試験成績表にまとめていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> バルブ類の平時の状態を示すラベルなどが見やすい状態で表示していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 計器類に運転時の適用範囲を見やすく表示していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 回転部や高温部等の危険箇所に表示又は防護をしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現地状況を勘案し、施工方法等についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 (理由) | | | | | | | |
| | | <p>●判断基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 評価値が 90%以上 ----- a ※ 評価値が 80%以上 90%未満 -- a' ※ 評価値が 70%以上 80%未満 -- b ※ 評価値が 60%以上 70%未満 -- b' ※ 評価値が 60%未満 ----- c | | | | | <p>①当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した 比率(%) 計算の値で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお削除後の評価対象項目数が 2 項目以下の場合は c 評価とする。</p> | | |
| | 評価欄 | | | | | | | | |

考査項目別運用表

(検査員)

| 考査項目 | 工種 | a 優れている | a' bより優れている | b やや優れている | b' cより優れている | c 他の評価に該当しない | d | e |
|----------------------------|--------|--|----------------|--------------|----------------|---|--|---|
| 3. 出来形及び出来ばえ II. 品質 | 電気設備工事 | <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 製作着手前に、品質や性能の確保に係る技術検討を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料・部品の品質照合の結果が品質保証書等（現物照合を含む）で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足して、成績書にまとめられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性にすぐれていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 操作制御関係の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の総合性能が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場条件によって機器（製品）の機能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備全体についての取扱説明書を工夫し作成（修繕（改造・更新含む）の場合は修正又は更新）していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の構造において、点検や消耗品の取り替え作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">理由</div> | | | | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。 | |
| | 評価欄 | <p>●判断基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 評価値が 90%以上 ----- a ※ 評価値が 80%以上 90%未満 -- a' ※ 評価値が 70%以上 80%未満 - b ※ 評価値が 60%以上 70%未満 - b' ※ 評価値が 60%未満 ----- c | | | | <p>①当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> | | |

考査項目別運用表

(検査員)

| 考査項目 | 工種 | a | a' | b | b' | c | d | e |
|---------------------------|--------------------|---|----------|---------|----------|------------|---|--|
| 3. 出来形及び出来ばえ II.品質 | 通信設備工事 ・受変電設備工事 | 優れている | bより優れている | やや優れている | cより優れている | 他の評価に該当しない | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。 |
| | | <p>●評価対象項目</p> <p>電気</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 設計図書に定められている品質管理を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料及び構成部品の品質及び形状について、設計図書等と適合が確認できる証明書等を整備していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料の品質照合の結果が、品質保証書等（現物照合を含む）で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備、機器の品質、機能及び性能が、成績等で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合の無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備全体としての運転性能が所定の能力を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 完成図書において、設備の機能並びに性能及び操作方法が容易に判別できる資料を整備していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 完成図書において、単体品の製造年月日及び製造者が判別できる資料を整備していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備全体及び各機器において、設計図書に規定した品質及び性能を工場試験記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備全体についての取扱説明書を工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。 <p><input type="checkbox"/> その他 理由</p> | | | | | | |
| | | <p>●判断基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 評価値が 90%以上 ----- a ※ 評価値が 80%以上 90%未満 -- a' ※ 評価値が 70%以上 80%未満 -- b ※ 評価値が 60%以上 70%未満 -- b' ※ 評価値が 60%未満 ----- c | | | | | <p>①当該「評価対象項目」のうち、評価対象としないの項目は削除する。</p> <p>②削除項目のある場合は削除後の評価対象項目数を母体として計算した比率（%）計算の値で評価する。</p> <p>③評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）</p> <p>④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> | |
| | 評価欄 | | | | | | | |

考査項目別運用表

(検査員)

| 考査項目 | 工種 | <A> | a | a' | b | b' | c | d | e | | | |
|---------------------------|--|---|---|---|---------|----------|------------|---|--|--|--|--|
| | | | 優れている | bより優れている | やや優れている | cより優れている | 他の評価に該当しない | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。 | | | |
| 3. 出来形及び出来ばえ II.品質 | 上記以外の工事 (情報ボックス、浚渫工等)又は合併工事 ※1. 一工事に多種工種 | | <input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらまきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 | | | | | | | | | |
| | | ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 理由 _____ <input type="checkbox"/> 理由 _____ <input type="checkbox"/> 理由 _____ <input type="checkbox"/> 理由 _____ <input type="checkbox"/> 理由 _____ <input type="checkbox"/> 理由 _____ <input type="checkbox"/> 理由 _____ | | | | | | | | | | |
| | | ●判断基準 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <A> 対象工事がばらつきによる評価が不適切な工事 ex)浚渫工、取壊し工等 ※ 評価値が90%以上 ----- a ※ 評価値が80%以上90%未満 ----- a' ※ 評価値が70%以上80%未満 ----- b ※ 評価値が60%以上70%未満 ----- b' なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。 </div> | | 対象工事がばらつきによる評価が適切な工事 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母体として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。 </div> | | | | | ※1. 一工事に多種の工種がある場合 ① 工事費が50%以上の工種とする。 ② 工事費が50%以上の工種がない場合 上位2工種を選定、それぞれで評価した後、8項目を金額割合で数を案分、検査対象である構造物の重要度及び工事費割合等を勘案のうえ、評価対象項目を注出し評価するが、それぞれの評価を越えないものとする。 (例:A工種「b」評価、B工種「b'」評価なら合併工種「b'」になるように項目を選定する。) 当面の運用は、上位2工種を選定、それぞれ工種毎に評価し、評価の低い工種をもって評価工種としてよいものとする。 | | | |
| | 評価欄 | | | | | | | | | | | |

| | | ばらつきで判断可能 | | |
|-----|------------|-----------|-------|---------|
| | | 60%以下 | 80%以下 | 80%を超える |
| 評価値 | 90%以上 | a | a' | b |
| | 75%以上90%未満 | a' | b | b' |
| | 60%以上75%未満 | b | b' | c |
| | 60%未満 | b' | c | c |

考査項目別運用表

(検査員)

| 考査項目 | 工種 | a | b | c | d |
|-------------------------------|---|--|--|--|-------|
| | | 優れている | やや優れている | 他の評価に該当しない | 劣っている |
| 3. 出来形及び出来ばえ III. 出来ばえ | コンクリート 構造物工事 砂防構造物工事 トンネル工事 | <ul style="list-style-type: none"> ● 評価対象項目 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部の仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 漏水が無い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | <ul style="list-style-type: none"> ● 判断基準 該当 5 項目以上 ----- a 該当 4 項目 ----- b 該当 3 項目 ----- c 該当 2 項目以下 ----- d | |
| | 評価欄 | | | | |
| | 土工事 (盛土・築堤 工事等) | <ul style="list-style-type: none"> ● 評価対象項目 <input type="checkbox"/> 仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけなどが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | <ul style="list-style-type: none"> ● 判断基準 該当 4 項目以上 ----- a 該当 3 項目 ----- b 該当 2 項目 ----- c 該当 1 項目以下 ----- d | |
| | 評価欄 | | | | |
| | 切土工事 | <ul style="list-style-type: none"> ● 評価対象項目 <input type="checkbox"/> 規定された勾配が確保されている。 <input type="checkbox"/> 切土法面の施工にあたって、法面の浮き石が除去されているなど、適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 法面勾配の変化部において、緩衝部を設けるなど適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 滞水などによる施工面の損傷が発生しないよう処理が行われている。 <input type="checkbox"/> 関係構造物等の取り合いが設計図書を満足するよう施工されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | <ul style="list-style-type: none"> ● 判断基準 該当 5 項目以上 ----- a 該当 4 項目 ----- b 該当 3 項目 ----- c 該当 2 項目以下 ----- d | |
| | 評価欄 | | | | |
| | 護岸・根固・ 水制工事 | <ul style="list-style-type: none"> ● 評価対象項目 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 材料のかみあわせがよく、クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけなどが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | <ul style="list-style-type: none"> ● 判断基準 該当 4 項目以上 ----- a 該当 3 項目 ----- b 該当 2 項目 ----- c 該当 1 項目以下 ----- d | |
| | 評価欄 | | | | |
| 鋼橋工事 | <ul style="list-style-type: none"> ● 評価対象項目 <input type="checkbox"/> 表面に補修箇所が無い。 <input type="checkbox"/> 部材表面に傷及び錆が無い。 <input type="checkbox"/> 溶接に均一性がある。 <input type="checkbox"/> 塗装に均一性がある。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | <ul style="list-style-type: none"> ● 判断基準 該当 4 項目以上 ----- a 該当 3 項目 ----- b 該当 2 項目 ----- c 該当 1 項目以下 ----- d | | |
| 評価欄 | | | | | |
| 地すべり防止工 事 | <ul style="list-style-type: none"> ● 評価対象項目 <input type="checkbox"/> 地山との取り合いが良い。 <input type="checkbox"/> 天端、端部仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | <ul style="list-style-type: none"> ● 判断基準 該当 3 項目以上 ----- a 該当 2 項目 ----- b 該当 1 項目 ----- c 該当項目なし ----- d | | |
| 評価欄 | | | | | |

考査項目別運用表

(検査員)

| 考査項目 | 工種 | a | b | c | d |
|---------------------------|---|---|--|--|-------|
| | | 優れている | やや優れている | 他の評価に該当しない | 劣っている |
| 3. 出来形及び出来ばえ III. 出来ばえ | 舗装工事 | <ul style="list-style-type: none"> ● 評価対象項目 <input type="checkbox"/> 舗装の平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけ等が良い。 <input type="checkbox"/> 雨水処理が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | <ul style="list-style-type: none"> ● 判断基準 該当 5 項目以上 ----- a 該当 4 項目 ----- b 該当 3 項目 ----- c 該当 2 項目以下 ----- d | |
| | 評価欄 | | | | |
| | 法面工事 | <ul style="list-style-type: none"> ● 評価対象項目 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 植生、吹付等の状態が均一である。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | <ul style="list-style-type: none"> ● 判断基準 該当 3 項目以上 ----- a 該当 2 項目 ----- b 該当 1 項目 ----- c 該当項目なし ----- d | |
| | 評価欄 | | | | |
| | 基礎工事 (地盤改良等を含む) | <ul style="list-style-type: none"> ● 評価対象項目 <input type="checkbox"/> 土工関係の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部及び天端の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 | | <ul style="list-style-type: none"> ● 判断基準 該当 3 項目以上 ----- a 該当 2 項目 ----- b 該当 1 項目 ----- c 該当項目なし ----- d | |
| | 評価欄 | ※地盤改良はc評価とする。 | | | |
| | コンクリート 橋上部工事 | <ul style="list-style-type: none"> ● 評価対象項目 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端及び端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> 支承部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | <ul style="list-style-type: none"> ● 判断基準 該当 5 項目以上 ----- a 該当 4 項目 ----- b 該当 3 項目 ----- c 該当 2 項目以下 ----- d | |
| 評価欄 | | | | | |
| 塗装工事 (工場塗装を除く) | <ul style="list-style-type: none"> ● 評価対象項目 <input type="checkbox"/> 塗装の均一性が良い。 <input type="checkbox"/> 細部まできめ細かな施工がされている。 <input type="checkbox"/> 補修箇所が無い。 <input type="checkbox"/> ケレンの施工状況が良好である。 <input type="checkbox"/> 全体な美観が良い。 | | <ul style="list-style-type: none"> ● 判断基準 該当 4 項目以上 ----- a 該当 3 項目 ----- b 該当 2 項目 ----- c 該当 1 項目以下 ----- d | | |
| 評価欄 | | | | | |
| 植栽工事 | <ul style="list-style-type: none"> ● 評価対象項目 <input type="checkbox"/> 樹木の活着状況が良い。 <input type="checkbox"/> 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。 <input type="checkbox"/> 支柱の取り付けが堅固である。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | <ul style="list-style-type: none"> ● 判断基準 該当 3 項目以上 ----- a 該当 2 項目 ----- b 該当 1 項目 ----- c 該当項目なし ----- d | | |
| 評価欄 | | | | | |

考査項目別運用表

(検査員)

| 考査項目 | 工 種 | a | b | c | d |
|-------------------------------|---|---|---|---|-------|
| | | 優れている | やや優れている | 他の評価に該当しない | 劣っている |
| 3. 出来形及び出来ばえ III. 出来ばえ | 防護柵(網)工事 | <ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 部材表面に傷及び錆が無い。 <input type="checkbox"/> 既設構造物等とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> きめ細やかに施工されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い | | <ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当5項目以上 ----- a 該当4項目 ----- b 該当3項目 ----- c 該当2項目以下 ----- d | |
| | 評価欄 | | | | |
| | 標識工事 | <ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 設置位置に配慮がある。 <input type="checkbox"/> 標識板の向き並びに角度及びその支柱の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 標識板の支柱に変色が無い。 <input type="checkbox"/> 支柱基礎が入念に埋め戻されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | <ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当4項目以上 ----- a 該当3項目 ----- b 該当2項目 ----- c 該当1項目以下 ----- d | |
| | 評価欄 | | | | |
| | 区画線工事 | <ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 塗料の塗布が均一である。 <input type="checkbox"/> 視認性が良い。 <input type="checkbox"/> 接着状態が良い。 <input type="checkbox"/> 施工前の清掃が入念に実施されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | <ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当4項目以上 ----- a 該当3項目 ----- b 該当2項目 ----- c 該当1項目以下 ----- d | |
| 評価欄 | | | | | |
| 機械設備工事 | <ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 主設備、関連設備及び操作制御設備が全体的に統制されており、運転操作性が良い。 <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 土木構造物、既設設備等とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 溶接、塗装、組立等にあたって、細部に渡る配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | <ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当4項目以上 ----- a 該当3項目 ----- b 該当2項目 ----- c 該当1項目以下 ----- d | | |
| 評価欄 | | | | | |
| 電気設備工事 | <ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 動作状態において、電氣的及び機械的な異常が無く、総合的な機能及び運用性が良い。 <input type="checkbox"/> ケーブル等の接続方法及び収納状況が適切である。 <input type="checkbox"/> 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | <ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当5項目以上 ----- a 該当4項目 ----- b 該当3項目 ----- c 該当2項目以下 ----- d | | |
| 評価欄 | | | | | |

考査項目別運用表

(検査員)

| 考査項目 | 工種 | a | b | c | d | |
|-------------------------------|---|---|--|--|-------|--|
| | | 優れている | やや優れている | 他の評価に該当しない | 劣っている | |
| 3. 出来形及び出来ばえ III. 出来ばえ | 維持修繕工事 | <ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 小構造物にも注意が払われている。 <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 既設構造物等とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | <ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当3項目以上 ----- a 該当2項目 ----- b 該当1項目 ----- c 該当項目なし ----- d | | |
| | 評価欄 | | | | | |
| | 電線共同溝工事 | <ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 歩道及び車道の舗装(含、仮復旧舗装)の勾配が適切で、有害な段差が無く平坦性が確保されている。 <input type="checkbox"/> プレキャストコンクリートブロックの蓋にがたつきや不要な隙間が生じていない。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから、不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | <ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当3項目以上 ----- a 該当2項目 ----- b 該当1項目 ----- c 該当項目なし ----- d | | |
| | 評価欄 | | | | | |
| | 下水道工事 | <ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 歩道及び車道の舗装(含、仮復旧舗装)の勾配が適切で、有害な段差が無く平坦性が確保されている。 <input type="checkbox"/> 人孔の蓋にがたつきや不要な隙間が生じていない。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから、不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | <ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当3項目以上 ----- a 該当2項目 ----- b 該当1項目 ----- c 該当項目なし ----- d | | |
| 評価欄 | | | | | | |
| 上水道工事 | <ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 歩道及び車道の舗装(含、仮復旧舗装)の勾配が適切で、有害な段差が無く平坦性が確保されている。 <input type="checkbox"/> 仕切り弁等の蓋にがたつきや不要な隙間が生じていない。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから、不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | <ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当3項目以上 ----- a 該当2項目 ----- b 該当1項目 ----- c 該当項目なし ----- d | | | |
| 評価欄 | | | | | | |
| 通信設備工事 受変電設備工事 | <ul style="list-style-type: none"> ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 主設備、関連設備等にきめ細かな施工がされている。 <input type="checkbox"/> 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 動作状態において、電氣的及び機械的な異常が無く、総合的な機能及び運用性が良い。 <input type="checkbox"/> 当該設備及び関連設備が全体的に協調及び統制され、総合的な性能向上への配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | <ul style="list-style-type: none"> ●判断基準 該当5項目以上 ----- a 該当4項目 ----- b 該当3項目 ----- c 該当2項目 ----- d | | | |
| 評価欄 | | | | | | |

考査項目別運用表

(検査員)

| 考査項目 | 工種 | a | b | c | d |
|--|--|--|---------|------------|-------|
| | | 優れている | やや優れている | 他の評価に該当しない | 劣っている |
| 3. 出来形及び出来ばえ III.出来ばえ | 上記以外の工事又は 合併工事 ※1. 一工事に多種工種 | ●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 理由 _____ <input type="checkbox"/> 理由 _____ <input type="checkbox"/> 理由 _____ <input type="checkbox"/> 理由 _____ <input type="checkbox"/> 理由 _____ ※ 当該工種からの評価対象項目で評価を行う。 ただし、評価対象項目は最大5項目とする。 | | | |
| | 評価欄 | ●判断基準 該当4項目以上 -----a 該当3項目 -----b 該当2項目 -----c 該当1項目以下 -----d | | | |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>※1. 一工事に多種の工種がある場合</p> <p>①工事費が50%を越える工種とする。</p> <p>②工事費が50%を越える工種がない場合 上位2工種を選定、それぞれで評価した後、5項目を金額割合で案分、検査対象である構造物の重要度及び工事費割合等を勘案のうえ、評価対象項目を注出し評価するが、それぞれの評価を越えないものとする。 (例：A工種「b」評価、B工種「b」評価なら合併工種「b」になるように項目を選定する。)</p> <p>当面の運用は、上位2工種を選定、それぞれで工種毎に評価し、<u>評価の低い工種をもって評価工種としてよいものとする。</u></p> </div> | | | | | |